

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高度地区見直し事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	01	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課		都市計画課		
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長		中山 貢一		

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	地域の特性に合った高度地区を指定することにより、良好な市街地の形成を目指す。
事業内容	従来の斜線制限による高度地区に加え、建築物の高さの最高限度を導入する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度に制度設計を実施する。 平成26年度から平成27年度に全額繰越明許。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の割合	74.50	78.80	79.30	%	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 建築物の高さ制限に係る制度設計を行った。 ①北側斜線制限 ②建築物の高さの最高限度 ③隣地斜線制限
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,600,193			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				7,600,193			
人役・職員(人)				1.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取り組みの課題	建築物の高さ制限の導入に当たっては、土地所有者等の合意形成が必要となる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	公聴会等を踏まえ、市民意見の集約に努める。